



平成30年度

自治体職員のための データ分析の基本 ～分析から政策展開へ～

自治体を取り巻く環境が変化していくなかで地域にあった施策を立案していくためには、データ分析から現状と課題を把握することが有効です。

この研修では、データ分析の基本を学び、分析結果を施策立案等に活かせるようになることを目指します。

研修の ポイント

- データ分析の基礎知識や代表的な分析方法について学びます。
- 仮説とデータを組み合わせることで課題解決策を検討できるようになることを目指します。
- データの分析結果を活かした、地域に根差した施策の立案について考えます。

開催要領

日程 平成31年1月30日(水)～2月1日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 データ分析の基礎と分析結果の活用について学びたい市区町村等の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年12月12日(水)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

研修受講にあたって 研修では、以下のとおりExcel(エクセル)の基本的な知識があることを前提に研修を行います。
・ Excelで四則演算ができる
・ Excelに関数の機能があることを知っており、使い方を知っている(関数そのものの知識は不要です)
・ Excelで基本的なグラフ作成ができる(棒グラフや折れ線グラフなど)

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成31年

1月
30日(水)

11:00 ~

入寮受付・昼食

12:30 ~

開講・オリエンテーション

13:00 ~ 17:00

講義 データ分析の基礎知識

滋賀大学データサイエンス学部 学部長 竹村 彰通 氏

滋賀大学データサイエンス学部 教授 高田 聖治 氏

様々なデータから現状を分析し、その地域に必要な政策を展開していけるよう、データ分析の基本的事項やデータの収集方法とその読み方、代表的な分析方法などについて理解します。

17:30 ~

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成31年

1月
31日(木)

9:25 ~ 17:00

講義・演習 データ分析の基本～統計的思考を身につけよう!

大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 小原 美紀 氏

政策形成を行うにあたり統計資料にだまされない、また統計資料で政策をミスリードしない実践力をつけるため、必要な統計の基礎知識とデータのとらえ方を学びます。

平成31年

2月
1日(金)

9:25 ~ 12:00

事例紹介 会津若松市におけるデータ活用の取組

福島県会津若松市 総務部情報政策課長 本島 靖 氏

会津若松市では、「スマートシティ会津若松」を掲げ、地方創生を推進されています。空き家対策や公共交通等、様々なデータを活用した施策を展開されるとともに、地元の会津大学や民間企業との連携で、人材育成やIoTへの展開等も含めたデータを活用した様々な取組についてご紹介いただきます。

12:00 ~ 12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

講師紹介

滋賀大学データサイエンス学部 学部長 たけむら あきみち 竹村 彰通 氏

1978年東京大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専門課程修士課程修了。スタンフォード大学統計学部客員助教授、東京大学経済学部教授、同大学大学院情報理工学系研究科教授等を経て、2016年滋賀大学データサイエンス教育研究センター長に就任。現在、同大学データサイエンス学部長。日本統計学会賞(2008年)などを受賞。

滋賀大学データサイエンス学部 教授 たかた せいじ 高田 聖治 氏

1988年東京大学理学部卒業、90年同大学院修士課程修了。郵政省、厚生労働省、内閣府、総務省において、経済統計の企画立案・作成・分析及び統計データに立脚した政策分析・立案にあたる。総務省統計局経済統計課長として平成28年経済センサス実施の陣頭指揮を執った後、2017年4月より現職。

大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 こはら みき 小原 美紀 氏

1995年横浜国立大学経済学部卒業、1998年大阪大学大学院経済学研究科を修了し、博士(経済学)取得。1998年大阪大学大学院国際公共政策研究科助手、2000年政策研究大学院大学准教授、2003年より大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授を経て、2017年4月より大阪大学大学院国際公共政策研究科教授。

福島県会津若松市総務部情報政策課長 もとじま やすし 本島 靖 氏

1984年4月会津若松市入庁、1991年4月総務部総務課(電子計算係)、2000年4月総務部情報政策課(新設)、2016年4月より現職。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。